

機械器具(8) 保育器
閉鎖循環式保育器
高度管理医療機器

ディアーM11

【禁忌・禁止】

- ・可燃性麻酔ガス雰囲気内では使用しないでください。[爆発または火災を起こすことがあります。]
- ・運転中は絶対に火気を近づけないでください。[火災や火傷の原因となります。]
- ・装置に直接水をかけないでください。[感電、漏電の原因となります。]
- ・運転中は必ず酸素供給をしてください。[ケージ内が酸欠状態になることがあります。]

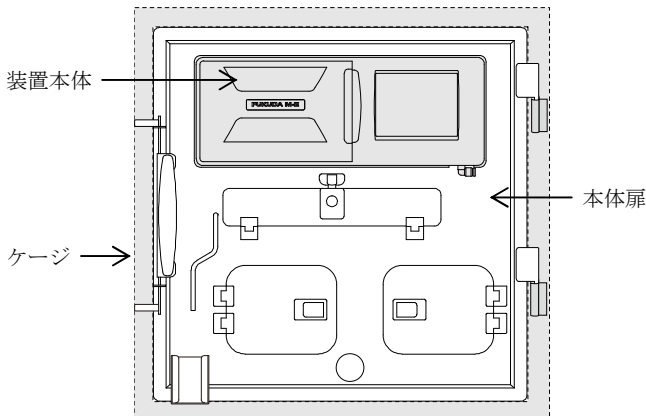
【形状・構造及び原理等】

概要

ケージ内の温度、湿度、酸素濃度を制御し、ケージ内を犬、猫等の小動物にとって適切な環境にする閉鎖循環式保育器です。

形状・寸法

本装置は、装置本体部分とウィンドウ部分から構成されます。装置本体を組み込んだウィンドウを汎用のケージ(320ℓ以下)に取り付けて使用します。



寸法(装置本体) : 445(W)mm×235(D)mm×270(H)mm
重量 : 9.0kg(本体)
標準ウィンドウ寸法 : 580mm×580mm

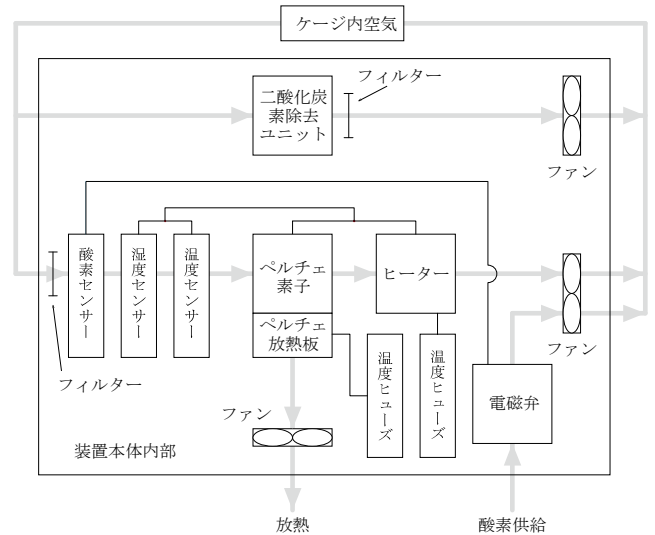
電気的定格

定格電圧 : AC100V
周波数 : 50/60Hz
電源入力 : 800VA

機器の分類

電撃に対する保護の形式 : クラス I 機器
水の浸入に対する保護 : IPX0 (特別な保護のない機器)

原理



【使用目的又は効果】

仕様

制御方式 : ペルチェ冷却とヒーター加熱による温湿度制御
電磁弁開閉による酸素濃度制御
制御範囲 : 温度 18~38℃
湿度(除湿) 切、強、中、弱
酸素濃度 25~40% (酸素供給 5ℓ/分のとき)

性能

温度計測精度 : ±1℃以内
湿度計測精度 : ±5%以内
酸素濃度計測精度 : ±3%以内

使用目的

犬、猫等の小動物の入っているケージ内を集中治療室化するために、温度、湿度、酸素濃度を制御することを目的としています。

【使用方法等】

詳細は取扱説明書を参照してください。

1. 使用前

- ・日常の点検(外観の点検等)を行う。
- ・酸素濃縮器または酸素ボンベと酸素ホースコネクタを、ホースで接続する。
- ・電源コードを商用電源(AC100V)に接続する。
ケージの配置等により、電源コードはストレートタイプのものか、またはL字コネクタのものを選択して使用する。

2. 使用中

- ・酸素を供給する。
- ・二酸化炭素除去ユニット(炭酸ガス除去ユニット)に二酸化炭素吸収剤を充填する。
- ・電源を入れる。

取扱説明書を必ずご参照ください

- ・目標値の設定
画面操作で、温度、湿度、酸素濃度の目標値を入力する。操作は、タッチパネルを直接タップして行う。
 - ・運転開始
画面上の〔運転〕ボタンで、制御を開始する。
 - ・運転終了
画面上の〔運転〕ボタンで、制御を終了する。
3. 使用後
- ・電源を切る。
 - ・酸素の供給を停止する。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

本装置との組合せ使用について

- ・酸素濃縮器を使用する場合は、弊社推奨のものを使用してください。
- ・ネプライザーを併用しないでください。〔霧状の粒子が装置本体内に入り、電子回路の破損の原因になります。〕

本装置の設置について

- ・傾いた床面や不安定な場所に設置しないでください。
- ・水のかからないところへ設置してください。
- ・湿気やほこり、直射日光、油の煙、タバコの煙などにより悪影響が生じるおそれのない場所へ設置してください。
- ・ケージの正常な位置に設置し、扉がしっかりと閉まることを確認してください。
- ・決められた使用環境の範囲内で使用してください。装置が正常な制御をできない場合があります。
- ・装置のまわりに15cm以上の空間をとってください。内部の熱をにがすために必要です。
- ・電源接続については、電源電圧（AC100V）や定格電流値に注意してください。
- ・たこ足配線や、延長コードの使用は避けてください。

使用上の注意事項

- ・本体扉をケージから取り外すときは、乾燥させてから外してください。また斜めにせず水平を保ったまま外してください。〔運転中に溜まった装置内の水滴が漏れ出します。〕*
- ・本体カバーを外したり、分解や改造をしたりしないでください。〔感電や故障の原因となります。〕
- ・運転中は1.5mの範囲内で携帯電話等の通信機器を使用しないでください。〔装置が正常な運転ができない場合があります。〕
- ・装置の使用中に、異常に熱い場合や変な臭いがする場合は運転を止めて電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・フィルタは清掃して目詰まりの無い状態を保ってください。〔目詰まりしていると、空気の循環が滞り、ケージ内部が異常に高温になる原因となります。〕*
- ・フィルタを外したまま運転しないでください。〔装置内に動物の毛やほこりが入り、故障や火災の原因となります。〕
- ・主電源のオン/オフを1秒間に何度も繰り返さないでください。また1回のオン/オフに1秒以上かけないでください。〔瞬間的な停電状態になり、緊急換気窓が開き機能が停止することがあります。〕

【保管方法及び有効期間等】

使用環境条件

- 温度範囲 18～25℃
- 湿度範囲 20～80%

保存環境

- 高温の場所や湿度の高い場所には保管しないでください。
- 天地を逆にしての保管は厳禁です。

耐用期間：製造出荷後4年（自主基準）

ただし、これは取扱説明書等に沿った手順で使用された場合で使用状況により差異が生じることがあります。

なお、消耗部品については、耐用期間より短い期間での交換が必要な場合があります。

また、耐用期間とはアフターの保障期間を意味するものではありません。詳細は、取扱説明書・保証書を参照してください。

【保守・点検に係る事項】

点検

- ・本装置のご使用後は、下記にあげる点検事項を必ず実施してください。また、ご使用状況にかかわらず1年に1度定期的に点検を行なってください。修理等が必要な場合は、弊社営業担当または販売店までご連絡ください。

点検項目	点検内容
外観の点検	傷や凹みはないですか？
	文字や記号などの表示は読めますか？
	コードやチューブ類に破損は無いですか？
	電源コードは抜けやすすくないですか？
電源投入後の点検	酸素ホースから酸素の漏れはありますか？
	異常な音、発熱、発煙はありませんか？
	画面の表示は正常か？ 時計の狂いはないか？
その他	プログラムバージョンの表示は正しいですか？

緊急換気窓の点検

- ・運転中に電源コードを抜いて、緊急換気窓が開くことを確認してください。確認するときは、ケージ内に動物がいない状態で行ってください。（電源コードを抜くということは、停電状態を模擬しています。）


清掃

使用後は毎回清掃してください。連続使用の時も、3日に1度は清掃してください。詳細は取扱説明書を参照してください。

- ・フィルタの清掃
掃除機で動物の抜け毛やほこりを取ってください。
週に1回以上は、中性洗剤で洗った水道水でよく濯いでください。
濯いだ後は、必ず乾燥させてください。
- ・装置本体・本体扉の清掃
柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがとれないときは、水か中性洗剤を含ませ、固くしぼった布でふいてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

 **FUKUDA M-E KOGYO CO., LTD.**
フクダ エム・イー工業 株式会社
 千葉県流山市南流山 6-26-8
 電話番号 04-7158-9020

製造業者

フクダ エム・イー工業株式会社 千葉事業所